第8回線引き見直しについて（報告）

（基本的な考え方の主な反映内容）

第8回線引き見直しについて

- ・ 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（整開保）の構成

第1章 神奈川の都市計画の方針

1 県全域における基本方針

県全域

- ・ 将来の県土・都市像
- ・ 目標年次
- ・ 都市計画の目標

基本的な考え方を位置付け

- ① 集約型都市構造の実現に向けた都市づくり
- ② 災害からいのちと暮らしを守る都市づくり
- ③ 地域の個性や魅力を生かした活力ある都市づくり
- ④ 循環型、脱炭素型、自然共生型の都市づくり
- ⑤ 広域的な視点を踏まえた都市づくり

2 ○○都市圏域における基本方針

都市圏域毎

- ・ ○○都市圏域 都市づくりの方向性

第2章 □□都市計画区域の都市計画の方針

都市計画区域毎

1 都市計画区域における都市計画の目標

- ・ 都市計画区域の都市づくりの目標

2 区域区分の決定の有無及び区域区分を定める際の方針

- ・ 人口の推計
- ・ 産業規模の推計

3 主要な都市計画の決定の方針

- ・ 土地利用、都市施設の整備、市街地開発事業、自然的環境の整備又は保全に関する主要な都市計画の決定の方針

4 都市防災に関する都市計画の決定の方針

□□都市計画区域の整備、開発及び保全の方針附図

○○都市圏域の都市イメージ

第8回線引き見直しについて

・ 基本的な考え方の主な反映内容

① 集約型都市構造の実現に向けた都市づくり

- ・ 本格化する人口減少社会に備え、集約すべき拠点の明示や立地適正化計画などにより集約型都市構造化に向けた取組を進める。

■ 大和都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針附図

第8回線引き見直しについて

・ 基本的な考え方の主な反映内容

② 災害からいのちと暮らしを守る都市づくり

- ・ 災害レッドゾーンについては、都市的土地利用を行わないことを基本的な考え方とし、地域の実情も踏まえながら、逆線引きなどにより土地利用の面からも防災・減災に取り組む。

■ 鎌倉都市計画区域区分 計画図（鎌倉市笹目町）

- : 土砂災害特別警戒区域
- : 区域区分界線（変更後）
- - - : 区域区分界線（変更前）

第8回線引き見直しについて

・ 基本的な考え方の主な反映内容

③ 地域の個性や魅力を生かした活力ある都市づくり

- ・ 人口減少社会の中でも、地方創生の観点から地域活力の維持・形成が必要。
自然、歴史、景観など地域の個性や魅力を生かした活力ある都市づくりに
向けて、都市計画制度を活用し柔軟に対応する。

「小さな拠点」づくりの取組イメージ

■ 大井都市計画整開保

秩序ある都市的土地利用の実現に関する方針

本区域の集約拠点として都市機能等の集積を図る大井町役場周辺地区及び中井町役場周辺地区や、都市的土地利用と農業的土地利用の混在、幹線道路沿道における無秩序な施設立地、農村集落の活力の低下や自然環境の喪失などの課題がある若しくは課題が発生すると予測される地域については、あらかじめ区域を設定し、地区計画等の活用により、農地や緑地等の自然的環境の保全と市街化調整区域の性格の範囲内での一定の都市的土地利用を一体的に図っていくなど、地域の实情に応じた、きめ細かな土地利用の整序誘導を図るものとする。

第8回線引き見直しについて

・ 基本的な考え方の主な反映内容

④ 循環型、脱炭素型、自然共生型の都市づくり

- ・ 自然と共生する持続可能で魅力ある都市づくりに向けて、グリーンインフラの考えも踏まえ、防災・減災、地域振興など多面的な機能を有する都市内の農地や緑地を適切に整備・保全する。

グリーンインフラストラクチャーの例

■ 茅ヶ崎都市計画整開保

緑地の確保目標水準

本区域における緑地については、おおむね20年後までに、都市計画区域の約22%(約1,070ha)を、特別緑地保全地区などの地域地区、公園や施設緑地などの都市施設及び樹林地や農地などのその他の緑地により、緑のオープンスペースとして確保する。

第8回線引き見直しについて

・ 基本的な考え方の主な反映内容

⑤ 広域的な視点を踏まえた都市づくり

- ・ 広域的な緑地の配置や流域治水プロジェクトの取組など都市計画区域を超える課題や、災害ハザードエリアにおける土地利用など各都市計画区域で共通する課題については、広域的な都市の将来像を共有しながら対応していくものとする。

流域治水の推進～これからは流域のみんなで～

■ 小田原都市計画整開保

下水道及び河川の整備・保全の方針

流域治水プロジェクトに取り組む酒匂川水系、森戸川水系、山王川水系、早川水系については、河川管理者、下水道管理者及び流域に関わるあらゆる関係者が協働し、流域全体で浸水被害を軽減させる治水対策に取り組む。